

ワークショップ7

「消化管診療における漢方薬のエビデンス」

司会 尾高 健夫（尾高内科・胃腸クリニック）

竹内 利寿（大阪医科大学附属病院消化器内視鏡センター）

漢方医学は西洋医学とは根本的に異なるが、現在の日本では両医学が協調して独自の日本型統合医療を展開している。消化器疾患においては、特に機能性消化管疾患である GERD、FD、IBS、慢性便秘症などが漢方治療のよい適応となっており、科学的エビデンスも徐々に蓄積されてきている。本セッションでは、これまであるいは未来につながる漢方薬のエビデンスをご発表頂き、実臨床にすぐにフィードバックできるセッションとしたい。基礎的あるいは臨床的演題を多方面から募集する。